

# そよかせ便り

令和3年3月12日発行

## 「コロナ下でのそよかせ本部との連携」

この1年は、新型コロナウイルスに振り回され続けた1年でした。ウイルス一つで、これほどまでに日常生活や学校生活が大きく影響を受けるとは、想像していなかった方も多いことでしょう。「えっ!?!」というようなことが毎日のように起こるなか、そよかせ本部の皆様は、工夫を凝らして対応され、力を尽くされてきました。

活動に制限の大きかった今年度、何を応援できるかいつも考えてくださり、実行に移してこられたことに、心より感謝申し上げます。図書ボランティアやレインボークラブ、ホームページ更新、緑化、漢検…など、多くの活動を、工夫して進めていただきました。状況が大変だったからこそ、そよかせ本部と学校とが今まで以上に連携を強くもち、歩み続けてきました。まだまだ、安心できる状況にはなっていませんが、これからも子供たちの健全育成のために、お力を貸していただけますようお願いいたします。



校長 細川 猛彦

本年度はコロナ禍により、そよかせ本部の活動も中止となることが多々ございました。この中「子供たちのために何ができるのか」考えさせられる1年となりました。

学校からの依頼をその都度精査し、コロナを持ち込まない様にスタッフも気を付けながら学校の支援活動をして参りました。そよかせ本部は元々「できることをできる人で」をモットーにしています。よってコロナ下においても慌てることなくいつも通りの活動ができたと思います。それはスタッフの皆様、学校、PTAの皆様のご理解ご協力のお陰と感謝しております。

なかなか子供たちに会えなくて寂しいですが、校長先生から「子供たちは元気です！保護者の皆様のお陰です」と聞き、逆に元気をいただいております。

1年間ご理解ご協力ありがとうございました。

来年度、笑顔でお会いできますように！



そよかせ本部 本部長  
半田 明子



# 子供たちの笑顔を守りたいと強く思った一年間

2度に渡る緊急事態宣言の発令。コロナという目に見えない敵が突如表れ、不安なスタートとなった今年度。学校でも多くの行事が制限されました。どうしたら子供たちを安全に守れるのか、先生方と何度も何度も相談しながら過ごした一年でした。

そんな今年度のそよかぜ本部の活動の一部を写真と一緒に紹介します



花壇整備



レインボークラブ



通学見守り



町探検

そよかぜ本部は1～2か月に1度、定例会を開いて、事業部毎の活動報告や学校との情報交換を行っています。

高四の正門を入った左側に花壇があるのはご存知ですか？きれいな花が子供たちや高四を訪れる人たちを出迎えています。これは緑化事業部が定期的に手入れをしているもので、今年度も例年通りの作業をしています。保護者の方々も学校に来る機会が少ない年度になりましたが、正門の前を通ったら是非ご覧ください。

レインボークラブは、2学期に入りようやく再開することができました。体育館や校庭で遊ぶときもマスクをしていますが、それを忘れるくらい元気に活動しています。見守る大人の運動不足も解消されます(いや、それどころではなくクタクタです)。漢字練習をしている子には「はねをしっかりと書こうね」「こっちの線は短いよ」など、先生として時には厳しく書き直しをさせることもあります。本当にキレイに書けたときは「はなまる」をあげます。

今年度は心の中で「今ここで頑張っているだけで全員はなまる！」という気持ちで見守りました。

安全防犯活動支援事業部では、子ども安全ボランティア(保護者)と安全支援隊(地域の方々)に、登下校の見守りにご協力いただいています。登下校のときに家の前に立って見守ってくださる方も多くいらっしゃいます。年度始めに全体で集まることはできませんでしたが、活動は継続しています。頼もしいご支援です！

授業補佐としては、新1年生の下校の見守りから始まり、な状況下でも、笑顔を忘れず一生懸命頑張っている姿に何度子供たちの笑顔を守るために、感染対策をし、距離を保ち笑顔の花が咲くように今後も活動をしていきます。活動内容なので、是非ご覧ください。



図書ボランティアは特に、今年度は活動が制限されました。本は共有で使いますし、読む場所は向かい合わせになっています。

感染を防ぐため、子供たちに楽しんで本を読んでもらえるように、たくさんの工夫を凝らしました。活動については、このそよかぜ便りの裏表紙の特集をご覧ください。

高四のホームページはコロナの影響で今年春からご覧になる機会も多かったと思います。レイアウトの変更や記事の掲載など、そよかぜ本部の情報公開支援事業部が関わっています。今年度は、家庭と学校の連絡を伝える場として休校中でも活躍しました。ICTで支援する重要性を感じた一年でした。

そよかぜ本部とPTAが共催したイベントは無事に行うことができました。

1つ目は「夕涼みの会」です。5・6年生の移動教室の中止が決まったとき、それでもなんとか楽しい思い出を作りたいという先生方からの熱い想いを受け、実現した企画です。校庭ではキャンプファイヤーをして、マイムマイムを踊り、校舎内のナイトハイクでは、先生も脅かし役に。私たちは化粧をしなければそのままオバケになれますなどと冗談を言いながら真剣に脅かし役を務めました。マイムマイムを踊った時もナイトハイクの時も直接手は繋ぐことはできませんでしたが、心は強く繋がれたことを実感しました。この企画、近隣の学校からも「高四はすごいことしましたね」と話題になったようです。高四の自慢がまた一つ増えました。

2つ目は、「科学工作教室」です。しっかりと感染対策を行ったうえで、東京工業大学OB会「くらりか」の皆さんをゲストティーチャーに迎え、親子で楽しめる理科教室を行いました。「ギシギシプロペラを作ろう」というテーマで講義と実演、工作の指導をしてくださいました。

1月には漢字検定を実施しました。今年度は一度しかできませんでしたが、日頃の学習の成果を発揮できていることを願っています。

、学校探検、校外学習など、様々なお手伝いをしました。どの年度も励まされている私たちです。

ちつつ、目を見て話を聞いて、不安があれば取り除いてあげて、内容は高四ホームページのそよかぜ活動日記に掲載しています



夕涼みの会



科学工作教室



学校探検



漢字検定





## 心を育てる活動 図書館と図書ボランティア

図書ボランティアはPTAとOBのボランティアによる共同活動です。毎年、本の読み聞かせや本棚の整理、季節毎の飾り付けなどの活動をおこなっています。

しかし、2020年度は感染症対策のため、授業時間やイベントが大幅に減りました。図書ボランティアにおいても、本の読み聞かせや春の読書旬間のイベントなど、通年行っていた活動が一部中止になりました。

今年度は「よんでピンゴ!」という、高四おすすめの本の中から、テーマに合う本を自分で探して読み、答えをカードに記入していくというイベントを秋の読書旬間に行いました。

活動は、火曜日の3～4時間目が充てられ、イベントやお手伝いの内容に合わせて集合しています(不定期)。

高四小の図書館では、アクリル板の設置や消毒液の準備など、感染症対策がされています。これから子供たちの読書活動が楽しいものになるようお手伝いしていきます。



机の中央にアクリル板



「よんでピンゴ」カード



様々な季節の飾り付け

### 編集後記

今回のそよかぜ便りはいかがでしたでしょうか。編集者、高四小の図書館は、どうして図書室ではなく「図書館」というのでしょうか?と、ふと不思議に思いました。

調べてみると、小学校のそれは、法的には学校図書館といって、子供たちの情報センター・居場所や先生のサポート場所の機能を持ち、単に図書が収められた部屋としての図書室とは違う意味をもつようです。

全国学校図書館協議会のサイトから引用します。  
『図書室か図書館かは部屋の大きさや蔵書数の違いではありま

せん。「読書」「学習」「情報収集」などの機能、職員、場所を含む名称が「学校図書館」です。

学校図書館と呼ぶことで、学びのための空間であることへの理解を促すこともでき、学習を支える機能を持たせていく第一歩になると言えるかもしれません。』

このような名称にも、子供たちのよりよい環境の構築を目指す意図が込められているのだなあと感じました。

今年度はコロナウィルスの影響が大きすぎる一年でした。早くコロナ禍が終息し、通常の生活が戻ってくることを祈っています。

そよかぜ本部では、いっしょに活動に参加して下さる方を募集しています。ご興味のある方はぜひお気軽にお問い合わせください。

### 連絡先

杉並区西荻南1-8-16 高井戸第四小学校

そよかぜ本部室 電話/FAX : 03-5941-8324

メールアドレス : soyokaze@bz03.plala.or.jp

高四小ホームページアドレス : <https://www.suginami-school.ed.jp/takaido4shou/index.html>

高四小学校支援本部アドレス : <https://member.sugi-chiiki.com/taka4-soyokaze/>

